慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1977
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.50, No.12 (1977. 12) ,p.399- 399
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	五十巻記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19771215-0399

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

一九二二年に第一号が発行された「法学研究」が本年をもつて第五十巻を迎えることとなつた。前原・手塚両名誉教授の回顧と歴史の素描に見られるように、本研究誌を企画し出版にいたつた先輩の諸先生はすでに世を去られてしまつている。この五十巻にいたる足どりは戦争があり、極度の財政困難があり決して容易なものではなかつた。とはいえ先進の企てられたこの仕事が、本塾法学部の研究者がその成果を世に問う貴重な存在として今にいたるまで重要な役割を果して来たものと信じている。とりわけ近年多くの研究誌が発行される中にあつて月刊の研究誌としてその歴史を続けていることはまた一つの意義のあることと考える。伝統はただその中に止つているだけでは力にはならないが、先進より受けついだ伝統を生かしてより価値のある成果としていくことが、現在法学研究会に属している研究者の責任であることを思つて次の時代への発展の一つの足がかりとしてこの特別号を出版することにした。

特別号の出版に当つての企画に与えられた期間は必しも長いものではなかつたが、幸にして多くの寄稿者をえることとなつた。本誌によれば現在塾内において研究活動を行つている方々の研究成果の一端が明らかになると共に、塾のわくを越えて塾での成果をさらに進められている方々の研究成果の一端を問うことが出来よう。これによれば、かつては小人数のささやかな研究誌として出発した「法学研究」が数・量において拡大して来ていることをうかがうことが出来る。このような拡大自体が「法学研究」という機関誌があつたからこそ果しえたものであると言わざるをえない。

このような財産をうけついで、次の時代への発展の責任を負う現在の法学研究会の一同は、一層の努力・研究を重ねて本誌の充実を企りたいと考えているし、それが、義塾の発展につながることを信じて努力を重ねたいと考えている。

終に、特に貴重な玉稿を寄せられた、前原・手塚両名誉教授ならびに多くの研究成果を寄せられた皆様にあつくお礼を申し上げる。

法学研究編集委員会